

# Fairy TopIX 2023 候補作一覧

## ❖ 推理将棋・プルーフゲーム部門 候補作一覧

---

推1	年賀誌紹介	P2
推2～推3	WFP作品展	P3～P4
推4～推43	詰将棋メモ出題	P5～P37

候補作は全43作。基本2023年にWFP上に掲載された作品となります。2022年は45作ですので、2作減となりました。また今期も短編・中長編の区分けをなくしております。ご了承下さい。目次の通り掲載年月日順ではなく、発表場所別に分類しております。

### 【更新状況】

4/8 候補作一覧をアップ

## 推1 2023/1 吉田直嗣作

### 年賀推理将棋 指し初めの一局

「おめでとう。指し初めの将棋、途中まで観戦させてもらったよ。4手目以降後手は玉の手と大駒の手を交互に指していたね。その後どうなった？」

「11手で詰ませて勝ったよ。この一局、23地点での不成は2回あったね」

「新年早々から絶好調だね。今年もよろしく」

さて、指し初めの一局とはどんな将棋だったのだろうか。そして2023年、貴方の勝負手は？

条件

- 1) 11手で詰んだ
- 2) 23地点の不成は2回
- 3) 4手目以降後手は玉の手と大駒の手を交互に指した

<年賀詰紹介2>

26歩 34歩 25歩 42玉 24歩 44角 23歩 33玉 22歩成 42飛 23飛 迄 11手

## 推2 2023/10 さつき作

### 衝立推理 17手

先手指し直し上限:8回

後手指し直し上限:8回

76歩 (-)

22角成:角 (22)

62角+ (-)

53角成+:歩 (-)

31馬:銀 (+)

86歩 (86+)

86馬:角 (-)

53馬+ (-)

45銀x

56銀++

### 終局図

										一
										二
				馬						三
										四
										五
		歩		銀						六
歩			歩	歩	歩	歩	歩	歩		七
							飛			八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香		九

持駒 角歩

<衝立推理の紹介 例題>

76歩 34歩 22角成 同飛 62角 42玉 53角成 33玉 31馬 95角 86歩 同角 同馬  
44玉 53馬 45玉 45銀x 56銀 まで 17手

### 推3 2023/10 さつき作

#### 衝立推理 20手

先手指し直し上限:8回

後手指し直し上限:8回

- 78銀 (-)
- 96歩 (-)
- 68玉 (-)
- 66歩 (37)
- 38飛 (-)
- 65歩 (29)
- 28飛 (28)
- 64歩 (-)
- 56歩 (56+)
- 67玉 (++)

#### 終局図

										9	8	7	6	5	4	3	2	1
										一	二	三	四	五	六	七	八	九
													歩					
											歩							
												歩	歩	玉	歩	歩		歩
												角	銀					
											香	桂		金		金	銀	香

持駒 なし

<衝立推理の紹介 例題>

78銀 14歩 96歩 13桂 68王 25桂 66歩 37桂生 38飛 13角 65歩 29桂成 28飛  
同圭 64歩 46飛 56歩 同飛 67王 57角成 まで 20手

## 推4 2023/1 諏訪冬葉作

### 5=23 5手

「今年の指し初めはどうだった？」

「5手目に2三の手があったからそこで終了にした。」

「ということはあの駒かな？」

「ちなみに成る手はなかったよ。」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・5手目に2三に着手した。
- ・成る手はなかった

解答は5手目までの手順を教えてください。

<詰将棋メモ 第158回出題 158-1 >

▲76歩、△34歩、▲22角不成、△24歩、▲23角 まで5手 正解者：11名

## 推5 2023/1 諏訪冬葉作

### 年賀状没問題2 7手

「この7手で詰む問題、ヒントに「5」を使っているのになんで没なの？」

「使ってはいるけど『5筋の手がなかった』って存在を否定するのはどうかと」

「そういうものなのかな・・・」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・7手で詰んだ
- ・5筋の手はなかった

<詰将棋メモ 第158回出題 158-2>

▲26歩、△42玉、▲25歩、△32玉、▲24歩、△42飛、▲23歩成 まで7手 正解者：11名

## 推6 2023/1 けいたん作

### 先手後手とも5筋に角を打つ 9手

「9手で詰みか。この対局は令和5年の指し始めにふさわしいんじゃないかな」

「そうだね。君も僕も後手陣の5筋に角を打ったからね」

「角成を同銀で取る手があったな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 9手で詰み
- 先手後手とも後手陣の5筋に角を打つ
- 角成を同銀で取る手あり

<詰将棋メモ 第158回出題 158-3 >

▲76歩、△34歩、▲22角成、△同銀、▲52角、△42玉、▲41角不成、△51角、▲32金 まで 9手 正解者：13名

## 推7 2023/1 Pontamon作

### 4年分の年賀推理 11手

「あけましておめでとう。元旦早々何やってるの？」

「今日は差し出し日に元旦って書いて年賀状を出す日だから年賀状を書いているんだ」

「物は言いようだけど12月25日までにらせなかつたんだろ。で、何で将棋盤が出てるの？」

「年賀状に年賀推理を書いているだろ、でも毎年毎年作るのが面倒だから4年間使える1作を作ったんだ」

「どんなの？」

「11手で詰んで、先手も後手も指した駒は2個ずつ。駒の表裏は不問だよ」

「物理的に1つの木片の駒なら、成って裏面で使っても1つということだね。それで？」

「23年から26年の4年間使えるように、23地点から26地点までの2筋の着手があったという条件さ」

「令和5年にちなんだ着手は？」

「5段目での駒成だよ。昨年作ってたら4段目での駒成にしたな」

「来年、6段目での駒成りにできないのなら、来年も新作を作らないといけないね」

「……」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 11手で詰んだ
- 先手も後手も着手した駒は2個ずつ（駒種の数ではなく物理的な駒の個数。駒の表裏で使ってもひとつの駒とする）
- 23、24、25、26地点の着手があった
- 5段目での駒成があった

<詰将棋メモ 第158回出題 158-4 >

▲76歩、△42玉、▲33角不成、△32玉、▲15角成、△24歩、▲26馬、△23玉、▲25馬、△12玉、▲34馬 まで 11手 正解者：9名

## 推8 2023/1 Pontamon作

### 先手も後手も2回と3回 11手

「あけましておめでとう、さっそく指し初めと行くか」

「新春ルールは2023年に因んで、10手目まではそれぞれが選んだ2つの筋を交互に指して、11手目からは自由着手にしよう。このルールだと10手目までに二人とも2回指した筋と3回指した筋が出来て23年らしいし、足した5は令和5年に通じるしね」 ※1

「最初の10手は新春の儀式みたいなものだね。新春ルールへの追加で、お互いの年明け最初の手で動かした駒は二度と動かしてはいけないことにしよう」

「了解。では、よろしくお願いします。」

：

「この11手目からは本気の勝負だね。ではこの手でどうだ！」

「あれっ、僕が本気を出す前にその11手目の初玉手で詰まされてしまった」

「詰みに直接関係している僕の駒は6枚だね」 ※2

「直接ってなんか意味深な言い方だな」

「……」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・11手目の初玉手で詰み
- ・10手までは先後それぞれが選んだ2つの筋を交互に指した ※1
- ・詰みに直接関係する先手駒は6枚 ※2
- ・初手と2手目で動いた駒は二度と動かなかった

※1：先手と後手が10手目まで着手する筋は重複してもよいし全く別々でもよい

※2：詰みに直接関係する先手の駒とは、王手している駒、玉の退路を抑えている駒、これらの駒を後手玉に取られないように支えている駒です

<詰将棋メモ 第158回出題 158-5>

▲68飛、△54歩、▲36歩、△42玉、▲66歩、△53玉、▲37桂、△44玉、▲65歩、△55玉、▲76歩 まで 11手 正解者：8名



## 推9 2023/1 ミニペロ作 余詰

### 初駒王手が16回・遊べる35手詰 35手

「それでは今年の年賀詰を発表します。35手詰です」

「2023年だから、23手じゃないの」

「2023年の3と、令和5年の5で35手なの」

「なんか無理やりだね」

「でも、初駒王手16回というお目出度いテーマだよ」

「初が付けばいいというもんじゃないけどね」

「いいの！ その初王手駒による王手だけど、

歩の王手9回と、香の王手を含む生駒の王手が16回あり、

すべて異なる駒だから、初王手駒としました

また、七草粥にちなんで、同の手は7回です」

「開き王手や両王手はどうするの」

「それは注釈を見てね。あと、銀のコビンに歩を打つ手があるよ」※

さて、年賀詰はどんな手順なのでしょう。

(条件)

・35手詰

・歩の王手9回と、香の王手を含む生駒の王手が16回あり、すべて異なる駒

・同の手が7回

・銀のコビン(ナナメ前)に歩を打った ※

※ 開き王手は、動いた駒ではなく、王手を掛けている駒が当該

※ 両王手は1回とカウントし、どちらかの駒が初王手駒であれば可

※ 上記注釈は、開き王手・両王手があることを保証しない

※ 一度王手した駒は、持ち駒になってもその履歴は消えません

<詰将棋メモ 第158回出題 158-6 >

▲76歩、△42玉、▲33角不成、△同玉、▲26歩、△24玉、▲25歩、△35玉、▲36歩、△45玉、▲46歩、△55玉、▲56歩、△65玉、▲66歩、△同角、▲77桂、△同角不成、▲68飛、△74玉、▲75歩、△85玉、▲86歩、△同角成、▲88銀、△95玉、▲96歩、△同馬、▲同香、△同玉、▲97歩、△86玉、▲87銀、△77玉、▲78金 まで 35手 正解者：4名

## 推10 2023/1 はなさかしろう作

指し初めはうさぎのたまごで 61手

「あけましておめでとう！ 今年は卯年だね」

「謹賀新年！ 『おおきな森のどうぶつしょうぎ』だと桂がうさぎだね」

「うさぎといえばイースターで卵を運んでくるんだよね」

「誕生や再生のシンボルなんだね。今年こそ良い年になるといいな」

「ほんとにね。ゆっくりたっぴりやっぺいこうよ」

「うん。よし、61手でできたね。持駒は桂が1枚ずつだよ」

「「というわけで、本年もよろしくお願ひします！！」」

61手で詰んだ手順を下記の情報をもとにして再現してください。一体何ができたのでしょうか。

(条件)

- 61手で詰んだ
- 詰上りの持駒は双方桂1枚ずつ
- 7手目までの局面で1筋の1～7段目の全てに駒があった
- 14手目までの局面の駒配置は55を中心とする点対称
- 18手目の△同玉に対して飛を縦に動かした
- 22手目は2度目の銀の手
- 28手目の△39角生に対して2度目の▲57歩で応じた
- 32、34、36手目はそれぞれ△13角生、△64歩、△88歩
- 38手目の△同玉に対して▲42馬で応じた
- 41～44手目は34、74、46、66の順に銀を打った
- 46～49手目はいずれも右方向への桂跳ね
- 52、54、56、58手目に82、72、31、21の順に歩を打った
- 55、57、59手目はそれぞれ▲63と、▲78金、▲48玉
- 60手目の△65銀に対して▲45銀引で応じた

<詰将棋メモ 第158回出題 158-7>

▲16歩、△14歩、▲15歩、△13角、▲16香、△12飛、▲17桂、△94歩、▲96歩、△95歩、▲97角、△94香、▲98飛、△93桂、▲53角不成、△57角不成、▲52歩、△同玉、▲97飛、△62銀、▲同角不成、△42銀、▲73角成、△79角不成、▲57歩、△同角不成、▲83馬、△39角不成、▲57歩、△同角不成、▲56馬、△13角不成、▲23馬、△64歩、▲33馬、△88歩、▲53歩、△同玉、▲42馬、△44玉、▲34銀、△74銀、▲46銀、△66銀、▲76歩、△33桂、▲77桂、△45桂、▲65桂、△89歩成、▲54歩、△82歩、▲53歩成、△72歩、▲63と、△31歩、▲78金、△21歩、▲48玉、△65銀、▲45銀引 まで 61手 正解者：7名

## 推11 2023/2 はなさかしろう作

七五三 8手

「8手で詰んだみたいだけど、どんな将棋だった？」

「3、5、7手目は同一駒種の手で3手目と7手目は同一駒の手だったよ」

「七五三みたいだね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 8手で詰み
- 3、5、7手目は同一駒種の手で3手目と7手目は同一駒の手

<詰将棋メモ 第159回出題 159-1>

▲78飛、△34歩、▲68金、△77角成、▲48金、△78馬、▲58金左、△69飛 まで8手 正解者：11名

## 推12 2023/2 ミニベロ作

初手以外すべて王手 9手

「9手で詰んだか。9手で頭飛車は珍しい手筋だね」

「先手の「初手以外すべて王手」というのも珍しいけどね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 9手詰
- 先手は、初手以外すべて王手を掛けた
- 頭飛車の手があった

<詰将棋メモ 第159回出題 159-2>

▲76歩、△64歩、▲33角不成、△42飛、▲同角不成、△62玉、▲63飛、△52玉、▲53飛成 まで 9手 正解者：12名

## 推13 2023/2 NAO作

他に指す手はいくらでもあったのに 13手

「手が広い局面でさんざん迷ったあげく大駒の手を指したら13手目に詰まされちゃった」

「棋譜を見せて。ふむ成る手が1回だけ、金頭の手が先手の1回だけか。

なるほど君が迷った後手番の局面は選択肢が185通り以上もあったんだね。

他に指す手はいくらでもあったのに」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 13手で詰んだ
- 後手は選択肢が185通り以上ある局面で大駒の手を指した
- 金頭の手が先手の1回だけだった
- 成る手が1回だけだった

<詰将棋メモ 第159回出題 159-3>

▲76歩、△32金、▲33角成、△41玉、▲32馬、△同飛、▲72金、△99角不成、  
▲88飛、△同角不成、▲61金、△42飛打、▲51金打 まで 13手

正解者：6名

## 推14 2023/3 けいたん作

大駒を1枚小駒を1枚 8手

「8手で詰みか」

「初手は歩突きだったね」

「大駒を1枚小駒を1枚取ったな」

「成る手はないね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 8手で詰み
- 初手は歩突き
- 大駒を1枚小駒を1枚取った
- 成る手なし

<詰将棋メモ 第160回出題 160-1>

▲76歩、△34歩、▲78銀、△88角不成、▲79金、△同角不成、▲48銀、△68金  
まで 8手 正解者：12名

## 推15 2023/3 Pontamon作

### 手順が多い9手 9手

教授「諸君、この9手で詰んだ終局図になる手順と特徴のある手を答えて」

A君「この手順で、右の手に左の手で応じました」

B君「この手順で、同の手がありました」

C君「この手順で、22角成がありました」

D君「この手順で、最終手は上の手でした」

教授「A君の手順には他の人の手があったけど、B君、C君、D君の手順には他の人の手は無いのに4人とも同じ終局図になる別々の手順だね。しかし、実際の対局手順には君らの手はなくて、「右の手に同じ筋の手で応じる手」がある手順だったんだよ」

A君「B君とC君の手の両方がある手順やB君とD君の手の両方がある手順もありそうですが、C君とD君の手は矛盾している感じなので、事実は小説より奇なりとはこのことですね」

教授「C君の手でもD君の手でも同じ終局図になるというのが終局図を探すヒントになりそうだよ」

さて、実際の対局手順はどんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・9手で詰み
- ・右の手に同じ筋の手で応ずる手があった
- ・同じ終局図になる手順には下記の手が単独もしくは複数含んだものもあるが、「右の手に同じ筋の手で応ずる手があった」手順にはこれらの手は含まれていない

A) 右の手に左の手で応じた

B) 同の手があった

C) 22角成があった

D) 最終手は上の手だった

※右の手、左の手、同の手、上の手は、棋譜にそれらの文字がある手のことです

※実際の対局手順を答えてください

<詰将棋メモ 第160回出題 160-2>

▲76歩、△34歩、▲22角不成、△52金右、▲55角成、△33桂、▲22角、△42玉、  
▲33馬 まで 9手 正解者：9名

## 推16 2023/3 Pontamon作

### 挑発合戦!? 15手

熱男「昨日指した将棋の話を聞いてくれよー」  
冷男「どうかしたのか?」  
熱男「こっちが後手だったんだけどさ、相手が初手に▲86歩として来たんだよ」  
冷男「それはナメられたもんだね」  
熱男「そう!だからこっちも△42玉とやり返してやったんだよ」  
冷男「最初からとんでもない出だしだな」  
熱男「そしたら相手は平然とした顔で次の手を指してきたから、カッチーン!と来たわけよ」  
冷男「それはお互い様だろ」  
熱男「そこで俺様ピッカーン!と閃いたのさ」  
冷男「何をだよ」  
熱男「あの86の歩をズッバーン!と玉で取ってやったら、さすがに平然とはしてられないだろうってね」  
冷男「どうしたらそういう思考に辿り着くか全く理解できないけど?まァそれでどうだったのさ」  
熱男「12手目に▲86玉と歩を取ってやったさ」  
冷男「一応なんとか無事に目標は達成したということか」  
熱男「でも次の歩の手を見て俺様悟ったんだ」  
冷男「負けをか?」  
熱男「何で分かるんだよ!!」  
冷男「そんだけ自玉を突っ込んで行ったら当然だろ」  
熱男「それで仕方なく14手目を指したんだ」  
冷男「何か他に対処法は無かったのか?」  
熱男「14手目は1手しか指せる手が無かったんだよ」  
冷男「で、15手目に詰まされたというわけか」  
熱男「挑発に乗った俺様がバカだった・・・」  
冷男「(気付くのが遅いだろ・・・)で、成る手や不成の手は無かったのか?」  
熱男「そういや、不成の手があったよ」  
冷男「なるほど、そうなるよこの手順ってことだな」  
熱男「ショッポーン」  
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 15手で詰んだ
- 指し始めは▲86歩△42玉
- 12手目に86玉と歩を取った

- ・13手目は歩の着手
- ・14手目の候補手は1手しかなかった
- ・不成の手があった

<詰将棋メモ 第160回出題 160-3>

▲86歩、△42玉、▲26歩、△54歩、▲25歩、△53玉、▲24歩、△64玉、▲23歩不成、△75玉、▲25飛、△86玉、▲87歩、△同玉、▲85飛 まで 15手  
正解者：10名

## 推17 2023/4 けいたん作

玉の斜め後ろの3筋の駒 10手

「10手で詰みか」  
「棋譜上角打の手があるね」  
「とどめは玉の斜め後ろの3筋の駒を取る手だな」  
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・10手で詰み
- ・棋譜上角打の手がある
- ・とどめは玉の斜め後ろの3筋の駒を取る手

<詰将棋メモ 第161回出題 161-1>

▲76歩、△34歩、▲44角、△同角、▲58飛、△17角不成、▲48玉、△28角打、▲59金右、△39角成 まで 10手 正解者：12名



## 推18 2023/4 ミニペロ作

### コンプライアンス? 9手

「最近の将棋はコンプライアンスにうるさいね」

「最近も何も、将棋なんだからルールは守らなくちゃ」

「ウン、そのルール上指せる手が6手しかない局面が2回もあったんだ」

「今流行りの合法手戦法だな」

「9手で詰んだけど、端の手が2回あったね」

「まさか、大駒の隣に着手したとか、成る手がなかったとか・・・」

「その通り。どうして知ってるの?!」

「それはさっきの私の将棋!」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 9手詰
- 合法手が6手しかない局面が2回あった
- 大駒の隣に着手があった
- 端の手が2回
- 成る手無し

<詰将棋メモ 第161回出題 161-2>

▲76歩、△62飛、▲33角不成、△52玉、▲15角不成、△77角不成、▲同桂、△44歩、▲16角 まで 9手 正解者：8名

## 推19 2023/4 Pontamon作

駒台に7枚 11手

「早指し練習の10秒将棋は二人とも随分忙しそうだったね」

「不成の手が無かったから駒を裏返さないといけないし、先後で4手連続の駒取りもあって、相手の駒を駒台に置いてから盤上の手を指したからね」

「結果はどうだったの？」

「11手で詰んだんだけど、終局時に駒台には7枚の駒があり、6枚は歩だったよ」  
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・11手で詰み
- ・先後で4手連続の歩取りがあった
- ・終局時、駒台には7枚の駒があり、6枚は歩
- ・不成なし

<詰将棋メモ 第161回出題 161-3>

▲76歩、△44歩、▲同角、△42飛、▲53角成、△47飛成、▲63馬、△37龍、▲48飛、△27龍、▲41飛成 まで 11手 正解者：10名

推20 2023/5 けいたん作

3手目は68玉 8手

「8手で詰みか」

「玉の着手は3手目の68玉のみ」

「成る手はないね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 8手で詰み
- 玉の着手は3手目の68玉のみ
- 成る手なし

<詰将棋メモ 第162回出題 162-1>

▲78飛、△34歩、▲68玉、△66角、▲56歩、△39角不成、▲59金右、△57銀  
まで 8手 正解者：13名

## 推21 2023/5 ミニペロ作

### 自角の隣 9手

「先手は、初期配置以外の自角の隣への着手がありましたね」

「8手目の金が最後の抵抗でしたが、9手で詰みましたね」

「途中に王手がありました、唯一の成る手でしたね」

「最終手は「打つ手」以外の着手でしたね」

「で、君たちは私にどうしろと言うのかね!？」

どうやら、推理将棋を知らない記者達からの質問だったようです。

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 9手詰
- 先手は、初期配置以外の自角の隣への着手があった
- 8手目は金
- 途中にあった王手は、唯一の成る手
- 最終手は「打つ手」以外

<<詰将棋メモ 第162回出題 162-2>

▲76歩、△34歩、▲22角不成、△44歩、▲33角成、△52玉、▲24角、△62金、  
▲34馬 まで 9手 正解者：11名

## 推22 2023/5 Pontamon作

### 底歩を打って 11手×2

「僕が桂を指したら相手は馬を動かしたから底歩を打ったんだ」

「11手目の6筋の手で詰んだんだろ」

「よく知ってるね」

「だって、昨日、その手順で詰めたからね」

「えっ、先手で底歩を打ったの？僕は後手で底歩を打って詰まされたんだよ。違う手順なんだね」

さて、二人の対局はそれぞれどんな手順だったのでしょうか。

(条件)

共通条件

- ・11手目の6筋の手で詰んだ
- ・桂の手、馬の手、底歩の順の3手連続着手があった

先手の底歩がある手順と後手の底歩がある手順の両方を解答してください。

<<詰将棋メモ 第162回出題 162-3>

先手の底歩があった手順

▲76歩、△52玉、▲33角不成、△51金右、▲同角不成、△88角成、▲77桂、△87馬、▲89歩、△72銀、▲62金 まで11手

後手の底歩があった手順

▲76歩、△74歩、▲55角、△75歩、▲82角成、△76歩、▲62飛、△73桂、▲83馬、△81歩、▲61馬 まで11手 正解者：11名

## 推23 2023/6 けいたん作

最終手以外奇数筋 8手

「8手で詰みか」  
「初手は金の着手だったね」  
「成る手はないな」  
「最終手以外は奇数筋だったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 8手で詰み
- ・ 初手は金の着手
- ・ 成る手なし
- ・ 最終手以外奇数筋

<詰将棋メモ 第163回出題 163-1>

▲58金右、△14歩、▲56歩、△13角、▲57金、△同角不成、▲38銀、△48金 まで 8手 正解者：12名

## 推24 2023/6 けいたん作

46角成まで 11手

「46角成まで11手で詰みか。2手目は42玉だったね」  
「そう、玉は斜めにしか動いていない」  
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 46角成まで11手で詰み
- ・ 2手目は42玉
- ・ 玉は斜めにしか動かない

<詰将棋メモ 第163回出題 163-2>

▲76歩、△42玉、▲55角、△54歩、▲73角不成、△53玉、▲82角不成、△44玉、▲24飛、△35玉、▲46角成 まで 11手 正解者：13名

推25 2023/6 けいたん作

同飛成2回 12手

「12手で詰みか」

「46角の着手があったね」

「同飛成の着手が2回あったな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 12手で詰み
- 46角の着手あり
- 同飛成の着手2回

<詰将棋メモ 第163回出題 163-3>

▲56歩、△34歩、▲55歩、△同角、▲58飛、△46角、▲53飛不成、△52飛、▲58玉、△57歩、▲同飛成、△同飛成 まで12手 正解者：10名

## 推26 2023/7 るかなん作

### 阿弥陀様の思召 10手

「随分感想戦が長かったようだけど、どうしたの？」

「10手目の不成が反則で負けになっちゃったけど、成なら合法手だったからその先を並べてたんだ。」

「感想戦でなく指し継いでいたのか。そっちは後で聞くとして、他には何かあった？」

「全ての筋に着手があって、駒台に5種類の駒を乗せたよ。先手は連続で指した駒も、不成も無かった。」

「先手の連続着手無しは53歩成の次の手で52と、みたいな手順も無いってことだね。」  
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 10手目に成が合法手の着手を不成として反則
- 全ての筋に着手があった
- 駒台に5種類の駒を乗せた
- 先手に同じ駒の連続着手なし
- 先手に不成なし

〈詰将棋メモ 第164回出題 164-1〉

▲76歩、△34歩、▲22角成、△33桂、▲92角、△45桂、▲11馬、△57桂不成、  
▲81角成、△69桂不成 まで 10手 (反則負け) 正解者：8名



## 推27 2023/7 けいたん作

桂着手5回 12手

「12手で詰みか」

「成らないと反則のときだけ成ったね」

「5手目は7段目の着手だったな」

「相手の玉頭に角を打つ手があったね」

「8手目と9手目は同じ筋の着手だったな」

「桂着手は5回だったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 12手で詰み
- 成らないと反則のときだけ成る
- 5手目は7段目の着手
- 相手の玉頭に角を打つ手あり
- 8手目と9手目は同じ筋の着手
- 桂着手5回

<詰将棋メモ 第164回出題 164-2>

▲76歩、△32飛、▲33角不成、△同桂、▲77桂、△58角、▲38銀、△45桂、▲48玉、△37桂不成、▲39玉、△49桂成 まで 12手 正解者：10名

## 推28 2023/7 Pontamon作

### 動けない歩の隣の駒 13手

「13手目の初王手で詰んだってね」

「うん、駒を成る手は、1筋の駒が強制成りする手の2回だけだったよ」※

「他にはどんな手があったの？」

「1段目への駒打ちに駒打ちで応じる手があったのと、歩の隣にある駒は歩以外は動かさなかったよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 13手目の初王手で詰み
- 駒を成る手は、1筋の駒が強制成りする手の2回 ※
- 1段目へ駒を打つ手に駒打ちで応じる手があった
- 歩の隣にある駒は歩以外は動かさなかった

※強制成り：ルール上、成らないと反則になる場合の駒成とします

<詰将棋メモ 第164回出題 164-3>

▲16歩、△14歩、▲15歩、△同歩、▲同香、△42玉、▲11香成、△32玉、▲21成香、△11歩、▲14桂、△42銀、▲22桂成 まで 13手

正解者：8名

## 推29 2023/8 Pontamon作

### 大駒の手は1回 7手

「7手で詰んだ将棋だけど、大駒の手は1回だったよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 7手で詰み
- 大駒の手は1回

<詰将棋メモ 第165回出題 165-1>

▲26歩、△42玉、▲25歩、△32玉、▲24歩、△42飛、▲23歩成 まで 7手

正解者：16名

## 推30 2023/8 るかなん作

妖精のエチュード 10手

強欲ルールで指す先手の強欲くんと禁欲ルールで指す後手の禁欲くんと対局です。※

「10手で詰ますとはやるじゃないか、禁欲くん。」

「うーん、強欲くんは先手を取ったのにらしくない将棋だったような…。」

「歩頭への着手があったな。」

「補助記号（成、上、寄など）の付く4手は連続して着手されていないね。」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

（条件）

- 10手で詰み
- 先手は駒を取る手と取らない手のどちらでも指せる局面では、常に「駒を取る手」を指した（フェアリールールの「強欲」に従った）※
- 後手は駒を取る手と取らない手のどちらでも指せる局面では、常に「駒を取らない手」を指した（フェアリールールの「禁欲」に従った）※
- 歩頭への着手があった
- 補助記号（成、上、寄など）の付く着手は連続しない4手

<詰将棋メモ 第165回出題 165-2>

▲68玉、△52金右、▲76歩、△42玉、▲33角成、△同角、▲78玉、△44角打、  
▲68銀、△88角成 まで 10手 正解者：11名

## 推31 2023/8 けいたん作

最終手76歩 13手

「13手目の初王手で詰みか。最終手は76歩だったね」

「5段目に角を打つ手があったな」

「5段目に歩を打つ手があったね」

「4筋で同の手が2回あった」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 13手目の初王手で詰み
- 最終手は76歩
- 5段目に角を打つ手あり
- 5段目に歩を打つ手あり
- 4筋で同の手が2回あった

<詰将棋メモ 第165回出題 165-3>

▲46歩、△34歩、▲45歩、△44角、▲同歩、△52玉、▲43歩不成、△同玉、▲36歩、△44玉、▲65角、△45歩、▲76歩 まで 13手 正解者：9名

## 推32 2023/9 Pontamon作

左の手2回だと詰まなかった 7手

「7手で詰んだ将棋で左の手があったよ」※

「どんな将棋だったの？」

「最終手で左の手の王手をすると詰まないから別の手を指したよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 7手で詰み
- ・ 左の手があった ※
- ・ 最終手を左の手で王手すると詰まないで別の手で詰めた

※左の手：棋譜に左の文字が付く着手

<詰将棋メモ 第166回出題 166-1>

▲76歩、△34歩、▲22角不成、△52金左、▲42角、△41玉、▲31角右成 まで7手 正解者：14名

### 推33 2023/9 けいたん作

引成では詰まない 9手

「9手で詰みか」  
「最終手は同角上成だったね」  
「最終手で同角引成では詰まないからな」  
「4手目は銀の着手だったね」  
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 最終手は同角上成
- ・ 最終手で同角引成では詰まない
- ・ 4手目は銀の着手

<詰将棋メモ 第166回出題 166-2>

▲76歩、△34歩、▲22角不成、△32銀、▲33角不成、△52玉、▲51角打、△42金、▲同角上成 まで 9手 正解者：12名

### 推34 2023/9 青木裕一作

平手なら詰まなかった？ 11手

「これが11手で詰まされて負けたときの棋譜だよ」  
「11手目に詰んでないし後手から指してる…って上手？ああ、平手じゃなくて飛車落ちか。将棋は…不成あり、7種類の駒の着手ありのバラエティーに富んだ将棋だね」※  
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 飛車落ちで11手で詰み。
- ・ 平手の配置で本譜と同じ手順で進んだ場合、11手目に詰まない。※
- ・ 7種類の駒の着手あり。
- ・ 不成あり。

※平手のときの手順は駒落ちに合わせて後手(上手側)から指していることを除き、反則はない。

<詰将棋メモ 第166回出題 166-3>

△34歩、▲68飛、△77角成、▲58金右、△68馬、▲同銀、△92香、▲91角、△38飛、▲82角不成、△39飛成 まで 11手 正解者：6名

## 推35 2023/10 るかなん作

計算ドリル 7手

「7手で詰み、なのはいいけど横の掛け算は何？」

「計算ドリルと一緒に置いていたらこれも計算されたみたい。」

「ああ、素因数分解か。なるほど、この棋譜には2種類の素因数を持つ数字しか無かったんだね。」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 7手で詰み
- ・ 棋譜上のすべての数字は2種類の素因数を持つ  
※左の手：棋譜に左の文字が付く着手

<詰将棋メモ 第167回出題 167-1>

▲76歩、△52玉、▲33角不成、△51金右、▲同角不成、△72銀、▲62金 まで 7手 正解者：13名

## 推36 2023/10 NAO作

金駒は龍より後に 10手

「たったの10手で詰まされちゃった」

「金駒の手は龍の手より後の2回だけだったね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 10手で詰んだ
- ・ 金駒の手は龍の手より後の2回だけ

<詰将棋メモ 第167回出題 167-2>

▲76歩、△44歩、▲同角、△42飛、▲77角、△47飛成、▲68玉、△49龍、▲78金、△69金 まで 10手 正解者：10名

### 推37 2023/10 けいたん作

王手された銀をすぐ取る 11手

「11手で詰みか」

「不成はないな」

「先手は同じ筋に連続で小駒の王手をした。王手はこれだけだね」

「後手は玉頭に王手された銀をすぐ取ったな」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・11手で詰み
- ・不成なし
- ・先手は同じ筋に連続で小駒の王手をした。王手はこれだけ
- ・後手は玉頭に王手された銀をすぐ取った

<詰将棋メモ 第167回出題 167-3>

▲76歩、△94歩、▲66角、△93香、▲同角成、△42飛、▲71馬、△54歩、▲52銀、  
△同玉、▲53香 まで 11手 正解者：9名

### 推38 2023/11 Pontamon作

大駒の棋譜 7手

「7手で詰まされたけど、3回目の大駒の手の棋譜は筋・段・駒種の3文字だったよ」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・7手で詰み
- ・3回目の大駒着手の棋譜は筋・段・駒種の3文字

<詰将棋メモ 第168回出題 168-1>

▲76歩、△34歩、▲22角成、△52金左、▲42角、△41玉、▲31馬 まで 7手  
正解者：14名



## 推39 2023/11 けいたん作

とどめは角右成 10手

「10手で詰みか」

「先手玉が3連続で動いたね」

「とどめは角右成の着手だったな」

「最終手で左の角は成れないけどね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・10手で詰み
- ・先手玉が3連続で動いた
- ・とどめは角右成の着手だった
- ・最終手で左の角は成れない

<詰将棋メモ 第168回出題 168-2>

▲76歩、△34歩、▲75歩、△88角不成、▲68玉、△97角不成、▲77玉、△66角、▲76玉、△75角右成 まで 10手 正解者：11名

## 推40 2023/11 ミニペロ作

歩で始まり歩で終わる 11手

「鮒に始まり鮒に終わる、という釣りの話か」

「いやいや、将棋は歩から、ということでしょ」

「違うの！ 先手は初手と最終手だけが歩だった、という11手で詰んだ将棋の話」

「見てたよ。先手は駒を1回だけ取って、それを7手目に3筋に打ったね」

「そう、成る手はなかったね」

「分かった！ 最初と最後に鮒を釣ったのね」

釣りはさておき、この推理将棋の手順を考えてくださいね。

(条件)

- 11手詰
- 先手の歩の手は、初手と最終手だけ
- 先手は駒を1回だけ取った
- 7手目は3筋に駒打ち
- 成る手なし

<詰将棋メモ 第168回出題 168-3>

▲66歩、△34歩、▲68飛、△66角、▲同飛、△42玉、▲36角、△33玉、▲65飛、△44玉、▲76歩 まで 11手 正解者：12名

## 推41 2023/12 NAO作

58同銀不成まで 10手

「あれ～。10手目58同銀不成で詰まされちゃった」  
「初手の隣の筋に指した2手目が勝因かな」  
さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- 10手目58同銀不成で詰んだ
- 初手の隣の筋に2手目を指した

<詰将棋メモ 第169回出題 169-1>

▲48銀、△34歩、▲56歩、△66角、▲57銀、△同角成、▲38金、△49銀、▲58金、△同銀不成 まで 10手 正解者：13名

## 推42 2023/12 ミニペロ作

歩で始まり歩で終わる (B)

11手

「麩で始まり麩で終わる、スキヤキの話だな」  
「旨いスキヤキは麩を食べば分かる、と言いますからね」  
「違うの！ 先手は初手と最終手だけが歩だった、という11手で詰んだ将棋の話」  
「見てましたよ。間の4手はすべて大駒でしたね」  
「先手は駒を3回取り、王手を3回掛けましたよ」  
「成る手はなかったみたいですね」  
「よし分かった！ 忘年会はスキヤキで決まりだな」  
スキヤキの前に、この将棋の手順を推理してくださいね。

(条件)

- 11手詰
- 先手の6手は、初手と最終手が歩で、あとは大駒
- 先手は駒を3回取り、王手を3回掛けた
- 成る手なし

<詰将棋メモ 第169回出題 169-2>

▲76歩、△34歩、▲22角不成、△42玉、▲31角不成、△33玉、▲36角、△24玉、  
▲13角不成、△15玉、▲16歩 まで 11手 正解者：11名

## 推43 2023/12 はなさかしろう作

攻方連続両王手詰 その2

20手

「隣の将棋が終わったみたいだけど、どんな将棋だったの？」

「20手で詰んだよ。12、14、16、18、20手目は互いに異なる地点の玉への両王手だったな」

「へえ、後手の5手連続両王手で詰み…今度は5地点で両王手がかかったんだね。ほかに目を引く手はなかった？」

「成が1回あったよ。それから、金にかけられた取りを躲す手に対して、角の隣の地点への手で応じたことがあったな」

「ふうん。まあでもやっぱり、11手目までの準備が肝だね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・20手で詰んだ
- ・12、14、16、18、20手目は互いに異なる地点の玉への両王手
- ・成1回
- ・金にかけられた取りを躲す手に対して、角の隣の地点への手で応じたことがあった

<詰将棋メモ 第169回出題 169-3>

▲76歩、△32飛、▲33角不成、△同角、▲46歩、△25角、▲78金、△15角、▲48玉、△36飛、▲47玉、△37飛不成、▲48玉、△47飛不成、▲58玉、△48飛不成、▲59玉、△58飛不成、▲69玉、△59飛成 まで 20手 正解者：9名